

内閣府「社会参加章」受章の概要

1 受章クラブについて

- (1) クラブ名 白鳥フレンズ
- (2) 結成時期 平成26年9月
- (3) 結成区域 大西一区（竜美丘学区）
- (4) 会員数 262名（令和7年4月1日現在）

2 受章した活動事例の内容

簡単な動作や計算といった要素で構成され、誰でも容易に取り組むことができるニュースポーツ「バツケリング」を独自に考案し、実施している老人クラブで、バツケリングを通じた高齢者の健康づくり活動への参加を促進している。また、町内会やこども会といった団体とも連携して世代間交流や地域間交流の機会を創出している。さらに、自分たちで作り上げたニュースポーツであるという意識を共有することでコミュニティーの繋がりが強化され、複合的に地域福祉の増進に寄与している。

【「社会参加章」趣旨】 ※内閣府ホームページより抜粋

内閣府ではエイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること）を実践している高齢者の事例（「エイジレス・ライフ実践事例」）や、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等（「社会参加活動事例」）を募集し、その中から内閣府として紹介する事例を決定し広く紹介することにより、国民の参考としていただくことを趣旨としています。（中略）

選考されたエイジレス・ライフ実践者に対し「エイジレス章」、社会参加活動団体に対し「社会参加章」を章する書状を交付するとともに記念の楯を授与します。

○社会参加活動事例（グループ等）

主体的に社会とかかわりを持ち、現に積極的な社会参加活動を行い、今後も継続的に活動が行われると認められるグループ、団体等であって、高齢社会における高齢者の社会参加活動として広く全国に紹介することがふさわしいと認められるもの（原則として構成員の数が10名以上で、かつ、65歳以上の者が中心となつて構成されていることが必要）。